



令和5年4月28日

鳥取市
株式会社とっとり市民電力
株式会社山陰合同銀行
公立大学法人公立鳥取環境大学

「脱炭素先行地域」の選定について

鳥取市(市長 深澤 義彦)、株式会社とっとり市民電力(代表取締役社長 児嶋 太一)、株式会社山陰合同銀行(取締役頭取 山崎 徹)及び公立大学法人公立鳥取環境大学(理事長 江崎 信芳)の4者は、環境省が募集した「脱炭素先行地域(第3回)」に共同提案を行い、本日、選定されましたのでお知らせします。

今回の提案では、「RE:Birth(再エネ創出)で進める地域脱炭素と地域のRebirth(進化・再生)」をテーマに、郊外のニュータウン(若葉台エリア)と過疎化が進む中山間地域(佐治町エリア)の2エリアにおいて、太陽光や水力等の発電設備を最大限導入し、再生可能エネルギーの地産地消を推進することで脱炭素の実現を目指します。

また、地域脱炭素化の取組により、生活交通の持続可能性向上や林業・農業振興といった地域課題を解決することで、ローカル版地域循環共生圏の構築を目指します。

今回共同提案した4者は、連携協定を締結し、今後、脱炭素先行地域の取組を通じて、地域課題の解決と地域価値の最大化を図ることで、安全・安心に暮らし続けられるまちを実現してまいります。

【お問い合わせ先】

鳥取市 経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室

担当：大角・保木本 (電話 0857-30-8288)

株式会社とっとり市民電力

担当：大谷 (電話 0857-30-6006)

株式会社山陰合同銀行 地域振興部 地域振興グループ

担当：田村 (電話 0852-55-1802)

公立大学法人公立鳥取環境大学 研究交流推進課

担当：杉本 (電話 0857-38-6704)

参考

環境省ホームページ 「脱炭素先行地域選定結果（第3回）について」

URL: https://www.env.go.jp/press/press_01538.html

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

中国地方では、第1回選定の米子市・境港市、邑南町（島根県）、真庭市、西粟倉村（岡山県）、第2回選定の山口市に続いての選定となりました。

- ・第1回（令和4年4月26日公表）採択26件（提案79件）
- ・第2回（令和4年11月1日公表）採択20件（提案50件）
- ・第3回（令和5年4月28日公表）採択16件（提案58件）